

神の音を、聴け。



ピアノの森

原作：一色まこと（講談社『週刊モーニング』連載中）

監督：小島正幸 脚本：蓬萊竜太 キャラクターデザイン／作画監督：藤田しげる 演出：小山田桂子 美術監督：水谷利春 撮影監督：石黒瑠美 色彩設計：山本智子 音楽：篠原敬介 音響監督：藤山房伸
ピアノ演奏／ミュージックアドバイザー：ウラディール・アシケナージ 制作：NAS アニメーション制作：マッドハウス 製作：『ピアノの森』製作委員会 協力：ヤマハ株式会社 配給：松竹



7月全国ロードショー！！

www.piano-movie.jp

©2007 一色まこと / 『ピアノの森』製作委員会 [NOT FOR SALE]

累計350万部突破!
原作:一色まこと

ウラディーミル・アシュケナーヅ
＜ピアノ演奏/ミュージックアドバイザー＞

『時をかける少女』『パプリカ』
制作:マッドハウス

感動の名作が、世界的ピアニストに出会い、圧倒的な映像で実現!!

イントロダクション

今、クラシック音楽ブームが最高潮! そしてこの夏、『ピアノの森』がスクリーンに登場する! 原作は、週刊モーニングで現在連載中のマンガ『ピアノの森』。生まれも性格も正反対の少年“天才的な音楽の才能を持つ海”と“努力型の秀才・修平”が森のピアノを通じて出会い、ライバルとしてピアニストを目指す姿を感動的に描き、読者を魅了している人気作。マンガファンはもちろん、多くの著名人たちも絶賛している作品である!

アニメーションの制作は、テレビアニメ『花田少年史』も手がけ、2006年に公開された劇場版アニメ『時をかける少女』でも数々の賞を受賞、ていねいな作品作りで海外でも評判の高いマッドハウス。今回のアニメ化には、世界的ピアニスト、ウラディーミル・アシュケナーヅが参加。劇中の主要なピアノシーンの演奏をするなど、音楽面でも世界レベルのクオリティで、クラシック音楽ファンにとっても見逃せない作品となっている。

また、特に原作の演奏シーンを、森のピアノのファンタジックな映像と珠玉のピアノ演奏によって、アニメーション映画ならではの音と映像で完璧に表現! スクリーンに描き出される、海と修平の熱い友情の物語が、子供から大人まで、たくさんの人の心を揺さぶる!



ストーリー

ピアノに愛された少年と、ピアノを愛せなくなった少年が、その森で運命を変える音に、出会った・・・

雨宮修平は、ピアニストを目指す小学5年生。とある田舎町へ転校してきた修平は、さっそくガキ大将の“キンピラ”に難題をつきつけられる。学校近くの森の中にある音の出ない“壊れたピアノ”を弾いてこいと言うのだ。その修平のピンチを救ったのは、クラスメイトの一人、瀬海。海は「あのピアノは音が出るんだ」と言い張り、キンピラと衝突、大ゲンカをしてしまう。

放課後、海は修平をその「ピアノの森」に誘う。森の奥には、美しい木漏れ日に照らされるグランドピアノがあった。そのピアノは、ピアノを習っている修平が弾こうとしても音が出ず、不思議な事に海には弾く事ができるのだ。海が言う「このピアノはオレのピアノだ!」。裸足で自由奔放に森のピアノを弾く海。その音色は不思議と人をひきつけ、修平は激しく心を揺り動かされる。だが海は、「ピアノを習った事なんか無いし、楽譜すら読めない」と言う。父のようなピアニストになるため、遊びもガマンして練習してきた修平には、海のような存在は衝撃だった。そして、修平は天才的な音楽の才能を持つ海にライバル心を抱き、海もピアノを弾く楽しさに目覚めていく! 友だちでありながらも、競い合う海と修平。二人の少年のピアノを巡る“熱い友情と感動のドラマ”がスクリーンに展開する!!

原作:一色まこと(講談社「週刊モーニング」連載中) 監督:小島正幸 脚本:蓬莱竜太 キャラクターデザイン/作画監督:藤田しげる
演出:小山田桂子 美術監督:水谷利春 撮影監督:石黒瑠美 色彩設計:山本智子 音楽:篠原敬介 音響監督:藤山房伸
ピアノ演奏/ミュージックアドバイザー:ウラディーミル・アシュケナーヅ
制作:N A S アニメーション制作:マッドハウス 製作:「ピアノの森」製作委員会 協力:ヤマハ株式会社 配給:松竹

© 2007 一色まこと/「ピアノの森」製作委員会

7月全国ロードショー!!